

★ご注意 散策の際は、住民のみなさんの生活を邪魔しますので、歩行のマナーを守るなど、ご注意とご配慮をお願いします。

1 元町から山手の丘へ
…西洋館・公園巡りコース

●歩行時間-約60分(見学時間別)

山手の西洋館や公園などを巡り、歴史や緑に癒される散策コースです。また元町・中華街から石川町駅周辺まで様々な店舗が連なる商店街もありますので、まちの散策も加えてみてはいかがでしょうか。

①見尻坂(みしりざか)
元町商店街から山手方面に曲ると、道が左右に分かれます。左へ上ると「見尻坂」は横浜地方気象台の脇に出て山手本通りへと通じています。急な坂道を上っていく様子から「前に行く人の尻を見上る坂」という由来もあります。 E-1

②横浜外国人墓地
見尻坂を上ると右側に墓地正門です。開港当初にアメリカ人水兵を葬ったのが始まりで、資料館には埋葬された外国人の業績など、資料が展示されています。【資料館:無料、10:00~17:00、月・祝翌、045-622-1311】 E-1

[寄り道①]貝殻坂
見尻坂(①)との分かれ道を外へ進む「貝殻坂」は元町公園と外国人墓地の間にあり、山手本通りへと通じています。墓地の崖土の中に貝殻片が混ざっていたことが由来ともいわれています。 E-2

③山手資料館
明治期の木造洋館です。館内には当時の家具や食器、資料などの展示があります。開、明治42(1909)年築【有料、11:00~16:00、045-622-1188】 E-2

④横浜山手聖公会
城壁を思わせる荘厳な石積みが特徴の教会です。カトリック山手教会聖堂(⑩)とともに山手の代表的なランドマークとなっています。開、昭和6(1931)年築。 E-2

⑤山手234番館
かつて外国人向けの集合住宅として使用されていました。現在は市施設として山手に関連する資料などを展示しています。開、昭和2(1927)年築【無料、9:30~17:00(7・8月は18:00)、第4水曜、祝翌、045-625-9393】 E-2

⑥山手89-6番館(えの木てい)
山手234番館(⑤)に隣接して建て、かつての外国人向け住宅です。現在は1階が喫茶店(えの木てい)として使用されています。 E-2

⑦エリスマン邸
スイス人貿易商エリスマンの邸宅を移築復元したものです。現在は市施設として公開し、当時の部屋の様子を再現展示しています。開、大正15(1926)年築【無料、9:30~17:00(7・8月は18:00)、第2水曜、祝翌、045-211-1101、喫茶室有】 E-2

⑧ベーリック・ホール
イギリス人貿易商ベーリックの邸宅として建てられ、現在は市施設として公開しています。玄關の三連アーチや豪華な多様な彫像をもつ、現存する山手外国人住宅で最大規模の建物です。開、昭和5(1930)年築【無料、9:30~17:00(7・8月は18:00)、第2水曜、祝翌、045-663-5685】 E-2

⑨元町公園
元町公園はフランス人ジェラルドが西洋風やレンガの製造所を設けていた西洋風洋館の地です。また山手の湧水を利用して船舶用の給水業者(水屋敷)と呼ばれていました。関連施設の展示や記念碑もあります。 E-2

[寄り道②] 額坂(ひたざか)
元町公園の斜面とアーチ型屋根の建物は階段が多く、急な坂の様子から「額がつくほどの坂」という由来もあります。 E-2

[寄り道③] 代官坂
ペリー来航の際には応接所の建設にあたるなど功が大きい。開港当初には総年寄として横浜の町政を掌っていたと名主・石川隆右の屋敷があったことから、この名前が付けられました。 E-1

[寄り道④] 汐汲坂(しおくみざか)
市制施行の頃は汐汲坂という町名がありました。浪温を副業とした農家の人たちが塩を運ぶのに通行した坂ともいわれています。かつて坂下にあった横浜高等女学校では、作家の中島敦が教鞭を執っていました。 E-1

★ご注意 散策の際は、住民のみなさんの生活を邪魔しますので、歩行のマナーを守るなど、ご注意とご配慮をお願いします。

⑩カトリック山手教会聖堂
西欧中世を思い起こさせるネオ・ゴシック風の外観が特徴的な教会です。ひときわ高い塔は、横浜山手聖公会(⑨)とともに山手の代表的なランドマークとなっています。開、昭和8(1933)年築。 D-2

⑪外交官の家
明治政府の外交官・内田定徳邸を移築し、市施設として公開しています。当時の外交官の暮らしを体験できるように家具や調度品が再現されています。国重要文化財指定、明治43(1910)年築【無料、9:30~17:00(7・8月は18:00)第4水曜、祝翌、045-662-8819、喫茶室有】 D-1

⑫山手イタリア山庭園
明治13(1880)年から明治19(1886)年までイタリア領事館が置かれていたことから「イタリア山」と呼ばれています。庭園には関内周辺の市街地やみどころからい21地区を望めます。 D-1

⑬プララ18番館
当初外国人住宅として建てられ、戦後はカトリック山手教会の司教館として平成3(1991)年に移築されました。平成5(1993)年に当館に移築復元し、現在は市施設として当館で使用されている横浜洋館の復元展示をしています。開、大正末期(無料、9:30~17:00(7・8月は18:00)第2水曜、祝翌、045-662-8318) D-1

⑭丸丸谷(おまるだにざか)
市制施行の頃は丸丸谷の町名がありました。明治期には横浜に展示される船員たちの繁華街として賑わいがあつたこと知られています。 D-1

⑮丸丸谷(おまるだにざか)
市制施行の頃は丸丸谷の町名がありました。明治期には横浜に展示される船員たちの繁華街として賑わいがあつたこと知られています。(現在は生水での飲用はできません) F-4

⑯ワシントン公園
ワシントンに位置する小さな公園です。ワシントンを下る道沿いからは本牧や山下のふ頭の様子が美しいです。 F-2

⑰ワシントン
山手町から小港町に至るワシントン坂の名前の由来には「ワシントン」として知られていますが、ワシントンとワシントンとを区別するために「ワシントン」として知られています。開、明治25(1892)年築【無料、9:00~16:00、045-641-3201 見学時記帳】 B-3

⑱柏葉公園
丸太を組み合わせたログハウス「オーロクジ」が人気の公園です。屋内のすべり台や迷路など子供たちの自由な遊び場として親しまれています。【無料、9:00~17:00、第2月曜、045-641-1169】 C-3

⑲風見鶏のある洋館
柏葉公園グラウンド脇を進むと右方向下に大きなユーカリの樹のある洋館が見えてきます。風見鶏のある八角形のサロンのような建物など、ヨーロッパの田舎住宅を思わせる建物です。開、大正(1912)年築。(内部見学不可) D-3

⑳竹之丸花道(たけのまるはなみち)
民家の軒先を縫うように進む細い路地ですが、かつて散敷されていた下水溝の蓋が「舞台の花道」に似ていたことから、この名前が付けられました。 C-3

㉑打越から柏葉・竹之丸へ
…まちの中にある歴史を感じる散歩コース

●歩行時間-約70分(見学時間別)

石川町駅から打越方面へ坂を上っていきます。寺のある通りを散策し、柏葉公園から竹之丸を経て山手駅へ向かうコースです。坂の上り下りや狭い道を行く、距離のあるコースです。

㉒丸丸地蔵
石川町二丁目、中村川にかかる「丸丸地蔵」の石碑とともに大・小規模の地蔵尊が立っています。 D-1

㉓地蔵坂
市制施行当時は地蔵坂の町名がありました。関内から本牧に向かう古路で当時坂の途中にあった地蔵尊が由来ともいわれています。 D-1

㉔桜並木
聖光学院の周辺には桜並木が続き、毎年春には桜が咲き美しい通りとなります。 C-5

㉕根岸外国人墓地
山手駅から上る坂の途中の右側に入口があります。文久5(1861)年、山手の外国人墓地が手塚にたつたため造成された、もうひとつの外国人墓地です。 C-4

㉖根岸外国人墓地
山手駅から上る坂の途中の右側に入口があります。文久5(1861)年、山手の外国人墓地が手塚にたつたため造成された、もうひとつの外国人墓地です。 C-4

㉗七曲り
根岸加曾台から根岸町へ下る急な坂道で、坂が何度も曲がることから七曲りという由来があります。かつては海岸への下り口でした。 C-5

㉘ボニーセンター
サラブレッドやミニチュアポニーなど様々な馬を飼育し、馬場や展示を自由に楽しむことができます。また馬に関するイベントなども行われています。【無料、9:30~17:00、045-662-7581】 B-4

㉙馬の博物館
馬に関する様々な資料が歴史・民俗・美術工芸・競馬等の幅広い分野にわたって展示・紹介されています。競馬記念公園は中央競馬会により建設されました。【有料、10:00~16:30、月曜、祝翌、045-662-7581】 B-4

㉚根岸森林公園
我が国初の洋式競馬場の跡地に造られた公園です。緑に囲まれた広大な敷地は緑の樹木や芝生が広がり、四季折々の景観も美しく、特に梅や桜の開花時期などはとても賑わいます。 B-4

㉛打越の湧水
根岸新道の道路脇に湧き出しています。開港大震災や空襲時には、多くの人がこの水で救われたそうです。(現在は生水での飲用はできません) C-1

㉜打越橋
打越橋は山を切り開き、根岸新道が山元町へ通じるときに分割された丘の頂上を結ぶ形で架けられました。鮮やかな朱色のアーチ形式の橋です。開、昭和(1928)年築。 C-2

㉝白滝不動尊
森の樹木に囲まれた、一条の滝が流れる静かな社です。不動明王立像が滝の洞から出現したという伝説が伝わっています。 B-5

緑と洋館の巡り道

横浜市 中区

山手234番館
山手234番館

根岸森林公園
根岸森林公園

山手234番館
山手234番館

外交官の家
外交官の家

緑と洋館の巡り道
< PC ><http://www.city.yokohama.jp/me/naka/sighthist/midoriyokan/>
< 携帯 ><http://www.city.yokohama.jp/me/naka/i/navi/2/>

「緑と洋館の巡り道」と「外国人遊歩道」

中区の山手・根岸・本牧の丘を巡る環状プロムナード「緑と洋館の巡り道」は、かつての「外国人遊歩道」をベースにしています。「外国人遊歩道」は幕末、山手が外国人居留地となった頃、山手・根岸・本牧の景勝地を巡る散策路として設けられました。当時の外国人たちは木漏れ日の降る治道の木陰と「ミシジッピー湾(根岸湾)」の美しい眺望を楽しみながら遊歩道を行きかえしていました。「緑と洋館の巡り道」は当時の面影を残す洋館や坂道、現在親しまれている公園などを結び、緑豊かな自然と歴史的な景観を楽しむことのできる散歩道です。

「緑と洋館の巡り道」の案内板

「緑と洋館の巡り道」には、周辺の地図と施設ガイドを載せた案内板を設置しています。(地図面に印)案内板は、山手地区は教会のマークに緑色、根岸地区は根岸森林公園の旧一等馬見所のマークに紺色、本牧地区は三溪園の旧燈明寺三重塔のマークに赤色とし、それぞれの地区ごとにデザインされています。

[山手地区] ・イギリス館前 ・外国人墓地入口 ・元町公園 ・カトリック山手教会付近 ・地蔵坂上	[根岸地区] ・打越橋付近 ・山元小学校前 ・根岸森林公園駐車場前 ・加曾台公園 ・池袋公園	[本牧地区] ・本牧中学校付近 ・新本牧公園 ・桜道入口 ・本牧せらぎ公園
--	--	--

平成19年9月発行
●発行：横浜市中区役所区政推進課
〒231-0021 横浜市中区日本大通224
TEL.045-224-8128 FAX.045-224-8214
URL : <http://www.city.yokohama.jp/me/naka/index.html>
横浜市広報印刷物登録 第190314号 類別・分類 E-QA010 不許複製

この印刷物は、再生紙(古紙混入率100%)を使用しております。

★ご注意 散策の際は、住民のみなさんの生活を邪魔しますので、歩行のマナーを守るなど、ご注意とご配慮をお願いします。

①不動坂
白滝不動尊にちなんで不動坂といふ由来があります。自然の樹木が生い茂る坂道です。 A-5

②三溪園
明治時代の豪商・原三溪が開いた日本庭園で、全国から歴史的な建築物が収集・移転されているほか、三溪園記念館では貴重な文化財を鑑賞できます。【有料、9:00~17:00、045-621-0635】園内散策後は三溪園南門に進みます。 E-7

③上海横浜友好園
三溪園南門を出ると本牧市民公園につながる上海横浜友好園があります。平成元(1989)年に友好都市結成15周年を記念し上海市から贈られた中国江南様式の庭園です。池には金魚や錦鯉が泳ぎ、玉蘭などは家具等の展示もしています。【無料、9:00~16:30、第4水曜】 D-7

④本牧市民公園
本牧市民公園はテニスコートや運動施設等を備えた大きな公園です。また水生植物の種付けや自然の材料で水路など生物環境をつつた「トンボ池」もあり、トンボを再び呼び戻すためにヤゴの放流とザリガニの放流などが行われています。 D-8

⑤自転車(ターナーテーブル)
かつて横浜機関区で使用されていた自転車(ターナーテーブル、蒸気機関車の向きを変えるための施設)とともに、「デゴイチ」の愛称で親しまれたD51形蒸気機関車が展示・保存されています。 E-8

⑥聖殿郷土資料館
本牧市民公園に連なる本牧池公園内にあります。八角形の建物は、本牧のランドマークとしても親しまれてきました。かつての本牧の漁村や農村で使われていた道具や資料などが展示されています。【無料、9:30~16:00、第3水曜、祝翌、045-622-2624】 E-8

⑦本牧いすみ公園
石積み水を流れる噴水が入口にあります。広場には縄で編まれた遊具もあり子供たちに人気です。奥には自然生かした広場もあります。 G-5

⑧旧山手250番館
山手にあった洋館を復元し現在は集合住宅の管理棟として利用されています。資料室に設計者アントニン・レーモンドに関する資料等の展示があります。【無料、10:00~17:00、月曜】 G-6

⑨本牧せらぎ公園
YC&ACのグラウンドを左に曲がります。池袋公園は小さな公園ですが、根岸の海が眼下に広がり、美しい眺めを楽しむことができます。 D-5

⑩本牧いすみ公園
本牧いすみ公園(⑧)と本牧通りをはさみで反対側にあります。園内を流れる小川のせせらぎと緑の樹木が落ち着いた雰囲気のある公園です。 F-5

⑪天徳寺
本牧山頂公園に隣接する天徳寺には横浜開港の土木工事で亡くなった人々を慰める「三昇万霊塔」があります。天徳寺口から本牧山頂公園へ進みます。 F-5

⑫本牧山頂公園
本牧の尾根沿いに広がる地形や自然を生かすことで造られたことからアメリカ坂といわれているという由来があります。坂上は本牧山頂公園入口です。坂を下りて進みます。 E-5

⑬ひざくら丘
濃い赤色の花を咲かせる横浜緋桜(ひざくら)の原木のある丘です。観山広場には近代日本の巨匠・下村観山が居を構えていたことから顕彰碑があります。 F-5

⑭和山田の丘
和山田の丘にある森のデッキ(木製の散策路)では木漏れ日が差し込む静かな樹林の散策を楽しむことができます。 F-6

⑮まきは丘
芝草が広がり樹木に囲まれ、展望台(見晴らし山)からの眺めの良い広場です。花のデッキにはシャク草、ツツジ、アジサイなどが咲きます。 E-5

⑯どんぐりの丘
クヌギやコナラなど、どんぐりのなる木が茂り、秋には様々な種類のどんぐりを見つけたことができます。幼児向けの遊具もありません。 E-5

⑰マイカル本牧
映画館やスーパーマーケット、レストランなどの集まるショッピングモールです。散策の休憩やお買い物などいかがですか。 G-6

(記号・略号説明)
園：横浜市指定文化財 園：横浜市認定歴史的建築物
【 】内：入場料、営業時間、定休日(祝翌一定休日が祝日の場合開館し翌日休)、電話番号 ※施設により不定休もありません。詳細は各施設にお問い合わせください。

●歩行時間は1分あたり約80メートルで計算しています。
●コース上に周辺地図と施設ガイドを載せた案内板を設置しています。(地図面に印)
●みなとみらい線はMM線と表記しています。
●敬称は省略しています。
●掲載情報は平成19年9月現在のものです。